



奈良県経済の概況

弱さがあるものの、緩やかな上向きの動きもみられる

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比3か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比3か月連続の増加

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比4か月連続の増加

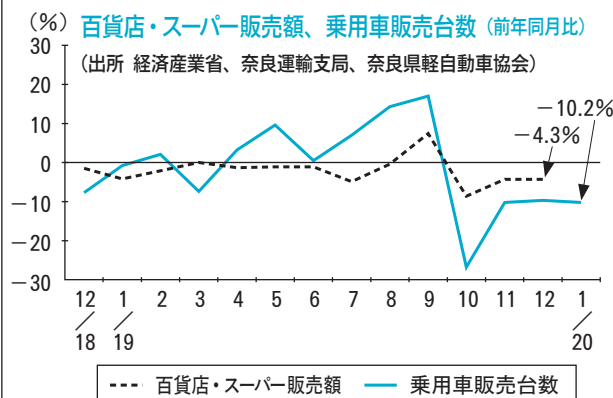
雇用情勢 有効求人倍率は前月比0.09ポイント上昇の1.50倍

企業倒産 倒産件数は7か月連続の一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比2か月ぶりの低下

1 個人消費

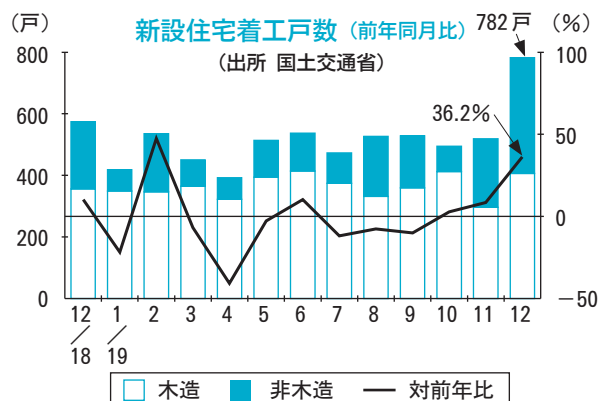
百貨店・スーパー販売額は前年同月比3か月連続の減少



- 12月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比4.3%減の220億46百万円で、3か月連続の減少。
- 1月の乗用車販売台数は前年同月比10.2%減の3,339台と、4か月連続の減少。普通乗用車は同6.4%減、小型乗用車は同13.3%減。軽乗用車は同11.3%減となった。

2 住宅着工

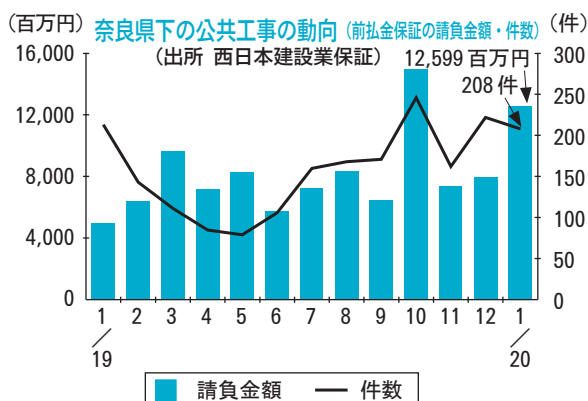
新設住宅着工戸数は前年同月比3か月連続の増加



- 12月の新設住宅着工戸数は前年同月比36.2%増の782戸と、3か月連続の増加。
- 利用関係別にみると、持家は同15.0%増の260戸と2か月ぶりの増加、貸家は同57.8%増の183戸と2か月連続の増加、分譲住宅は同46.1%増の339戸と2か月ぶりの増加となった。

3 公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比4か月連続の増加

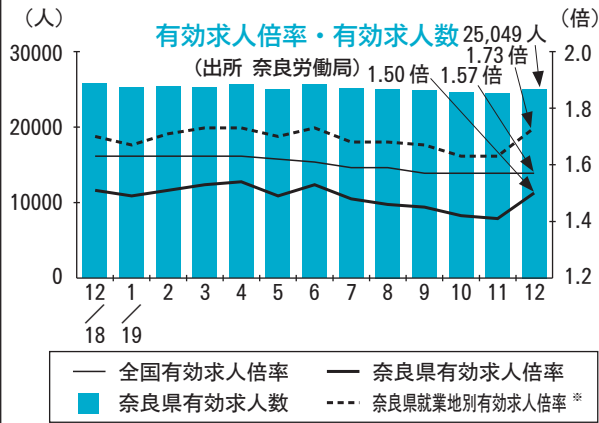


- 1月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比154.5%増の125億99百万円と、4か月連続の増加。
- 発注者別にみると、国は同609.1%増、県は同20.0%増、市町村は同191.9%増。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.09 ポイント上昇の 1.50 倍



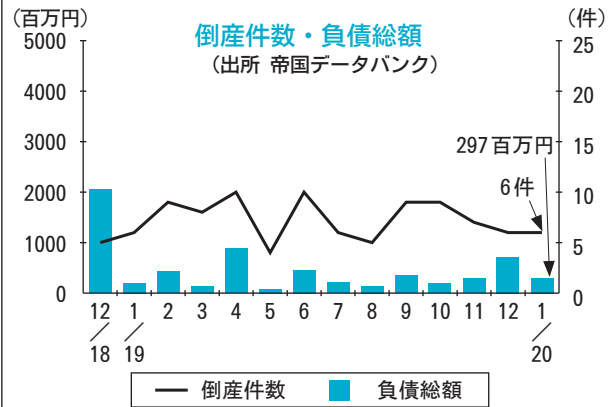
*実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- 12月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.09 ポイント上昇の 1.50 倍となり、6 か月ぶりの上昇。前年同月比は 0.01 ポイント低下。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.06 ポイント上昇の 2.44 倍と 2 か月連続の上昇。前年同月比は 0.01 ポイント上昇。

5

企業倒産

倒産件数は 7 か月連続の一桁台

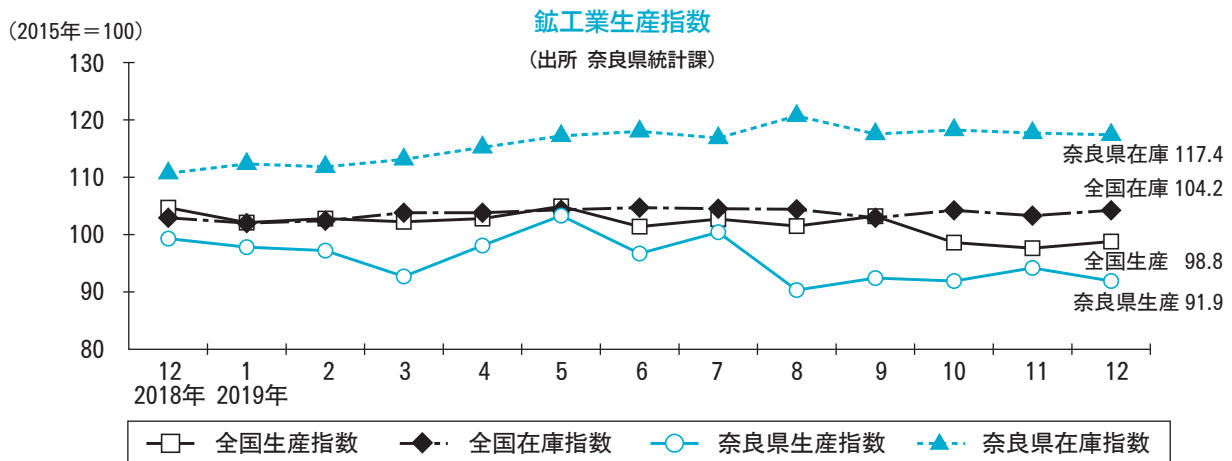


- 1月の倒産状況を見ると、件数は前年同月比横ばいの 6 件となり、7 か月連続の一桁台。負債総額は同 51.5% 増の 2 億 97 百万円と 4 か月ぶりの増加。
- 業種別では、小売業、その他が各 2 件、建設業、製造業が各 1 件。倒産形態では、全てが自己破産であった。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの低下



- 12月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 2.4% 低下の 91.9 となり 2 か月ぶりの低下。原指数は前年同月比 7.5% 低下の 90.8 となり 7 か月連続の低下。在庫指数は前月比 0.3% 低下の 117.4 となり 2 か月連続の低下。
- 業種別生産指数の動きは、食料品・たばこ工業、金属製品工業、電気機械工業などの 7 業種が前月比上昇となる一方、化学工業、プラスチック製品工業、輸送機械工業などの 9 業種が同低下。